授業科目　フィジカルアセスメント

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	看護
佐藤　信枝、川崎　久子、 阿部　明美、石塚　敏子　他	開講時期	前期・後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

看護に必要な情報を収集するための身体面、心理的面、社会背景の観察技術とメカニズムを理解し人間の日常生活や健康状態を評価するまでの過程を習得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．バイタルサインの測定ができる。
2．看護面接の基本情報の聞き取りができる。
3．頭部・眼・脳神経の基本的観察と情報収集ができる。
4．胸部・呼吸器系の観察と情報収集ができる。
5．腹部の観察と情報収集ができる。
6．骨筋系・知覚の観察と情報収集ができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-30	３～４週間を１ユニットとする。 前期３ユニット　後期２ユニット。 自己学習とグループによる学習、週１回テュータがついた授業を行いながらユニットの課題を前期・後期５ユニットで実施する。 PBL テュートリアル、オリエンテーションを受け、学習方法、学習計画、運営の仕方を理解し実施していけるようにする。 ユニット課題 １．腹部 ２．脳骨筋知覚 ３．医療面接 ４．呼吸 ５．循環 上記５つの課題を実施し観察、情報の収集、実施技術ができる。 自ら調べそれをメンバーに発表し理解してもらう、またメンバーの調べたものを理解する。共有することで対人関係をきずきながら学習を効果的に進めていく。		PBL テュートリアル方式 オリエンテーション 学生個人による自己学習 学生グループによる自己学習 テュータ（教員）が技術のモデルを示す 技術演習 ビデオによる事前の自己学習 学生個人によるグループへのプレゼンテーション 基礎看護学担当教員が中心にて行う

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書	フィジカル・アセスメント	藤崎郁	Gakken	2002・3,900 円
	入門人体解剖学	藤田恒夫	南江堂	2005・5,000 円
	シンプル生理学	藤田恒夫、貴邑富久子	南江堂	2010・2,900 円＋税
	フィジカル・アセスメント	小野田千枝子、高橋照子、芳賀佐和子	金原出版	2005・3,800 円
その他の資料				

【評価方法】

学習態度評価（学習態度自己評価出欠席も加味する）50%
知識テスト（後期）30%
技術テスト（前期・後期）20%
終了時のまとめファイルとポートフォリオシートも含む

【履修上の留意点】

主体的に調べ学ぶ学習です。小グループ学習のため積極的態度と出席は必須です。
メンバーの一員として力を発揮してください。